

木質バイオマスの基礎知識から 利活用の課題、最新動向と展望

1名分料金で
2人目無料セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250532>

- ◆日時: 2025年05月21日(水) 10:30~16:30
 ◆【アーカイブ配信受講: 5/22(木)~5/29(木)】の視聴を希望される方は、
 ⇒こちら <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250532A> からお申し込み下さい。
 ◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円(税込)から
 ・1名で申込の場合、**49,500円(税込)**へ割引になります。
 ・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計55,000円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 名古屋大学 大学院生命農学研究科 教授 農学博士 福島 和彦 氏

【習得できる知識】

木質バイオマスの主要構成成分であるリグニンの分布、生合成、化学構造、分析法、分解法などの基礎知識を解説します。木質バイオリファイナリー事業を企画・実施する上で、参考になると思います。

【講演の趣旨】

2050年カーボンニュートラルを目指す中、エネルギーやマテリアルの原料を化石資源からバイオマスへシフトさせていくことが求められています。再生可能で豊富な資源量から木質バイオマスへの関心が高まっています。木質バイオマスの利用の鍵はリグニンにあります。木質を基盤とするバイオリファイナリーを発展させるためには、リグニンとセルロースの効率的な分離技術、そしてリグニンの選択的な抽出技術が必須です。しかしながら、リグニンは他の天然高分子と異なり、その構造は極めて複雑かつ不均一であるため、分離・抽出の妨げとなっています。ここでは、木質バイオマスの基礎から将来展望について紹介します。

【プログラム】

1. バイオマスとは
 - 1-1 パリ協定・SDGs・カーボンニュートラル
 - 1-2 バイオマスの定義と種類
 - 1-3 森林資源の貯存量
 - 1-4 林業の現状
 - 1-5 脱炭素社会に向けたバイオマス利用の意義
2. 木質バイオマスの特徴
 - 2-1 樹木の進化・種類
 - 2-2 樹木を構成する組織
 - 2-3 木材の主要3成分(セルロース、ヘミセルロース、リグニン)の生合成と化学構造
 - 2-4 抽出成分
3. 木質バイオマス変換技術(バイオリファイナリー)
 - 3-1 バイオエタノール
 - 3-2 改質リグニン
 - 3-3 リグニン由来バイオプラスチック
 - 3-4 セルロースナノファイバー
4. 持続可能な社会に向けて
 - 4-1 カスケード利用
 - 4-2 今後の展望

『木質バイオマス』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒☐LIVE/☐アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>